

## 電子町内会便り

### 「和やか忘年会」に参加して

9組 笹尾 智子

12月3日(月)、婦人部の「和やか忘年会」に参加させていただきました。仕事をしており、日頃は町内の皆様と交流の少ない私にとって大変有意義な、そしてとても楽しい忘年会でした。何かと忙しい毎日ですがこの時期になると、婦人部の行事を大変心待ちにしております。

昼前に「うどんのくうちゃん」前に集合して、岡山甲羅本店に行きました。くうちゃんに行く時、「笹尾さん、一緒に行きましょう！」と声を掛けてくださる近所の奥様、本当にありがたいことで、感謝の気持ちでいっぱいです。

岡山甲羅本店の建物も立派で、老舗料亭を思わせる雰囲気が素敵でした。食事のかに料理も大変おいしく、幸せな気分になりました。同じテーブルで食事をご一緒させて頂いた方々、名前がまだ覚えられていない方もいらっしゃいましたが、そのうちに楽しく会話ができるようになって、とても嬉しかったです。少し残念に思ったのは、若い方の参加が少ないように感じました。若い方の参加でもっと盛り上がるのではないかと思います。

最後に、毎年忘年会をお世話して下さる婦人部役員の方々、いろいろご苦労があると思います。忙しい中、毎年素晴らしい会を催して下さり有難うございます。これからも宜しく願いいたします。



## 雑記帳

### カルロス・ゴーンはグローバルリストの端くれ

日産のカルロス・ゴーンはいくらのお金が欲しかったのだろうか。

自家用ジェットで世界を飛び回り、一流ホテルのスイートルームで過ごす生活費はおろか、自身の離婚訴訟にかかる弁護士費用さえも会社の経費で賄ったようだ。だとすれば、他にお金がいることはないだろうと不思議に思う。何より、税金をごまかそうとする不正な行為は日本人が最も忌み嫌う行為だ。

考えてみれば、彼の功績は日本人経営者ではとてもできない社員のリストラを大胆に行ったことに尽きる。リストラされた社員一人一人の行く末を考えたとき簡単に首切りなどできないのが、良くも悪くも日本の経営者なのだ。

フランスの準国営会社ルノー社から派遣されたゴーン氏は、ナポレオンを生んだ国の出である。

気位が高くアジアの国などはじめから見下していたにちがいない。だからこそ、上から目線で常識外れの合理化をすることができたのだろう。

これを倒産寸前の日産を立て直した大功労者とみるか、血も涙もない独裁者とみるか分かれるところだが、グローバル化という点から見れば、これこそが国際標準でありグローバル化なのだろう。

世界の金持ちから見れば、カルロス・ゴーンはとるにたらぬ金持ちに過ぎないが、本性は同じで、彼らはすべて強欲なのだ。

その彼らに都合の良い思想がグローバリズムともいえる。世界のあちこちに住居を持ち、どこが住居地か分からない地球人となり、都合よく税金逃れを行っているのが実態なのだが、グローバルリストと持てはやされる存在なのだ。(ひとり言)